

わが国における大学秋入学 制度導入に対する私見

熊本大学生命科学部消化器外科学 馬場 秀夫



本年 1月20日に東京大学の浜田純一学長が、今後、秋入学に全面移行する構想を正式に表明し、旧帝大や有名私立大学が同調する意向を示している。アメリカをはじめとして海外の多くの大学が秋入学を採用しており、これが global standard となっている。日本も海外の大学と同じ秋入学制を導入することで、わが国から海外へ、また海外からわが国の大学への留学が容易になると予想される。現在、韓国・中国・インドといったアジア諸国では海外留学する学生が増加の一途をたどる中、日本だけが海外へ留学する学生が半減する状況になっている。若者が比較的变化を好まず安定志向・内向きになってきているといわれているが、まさしく海外留学生の経年的な減少にも見て取れる。確かに、ITが発達し、インターネットを利用すれば即座に世界中の情報を入手できるため、わざわざ海外に出ていく必要もないと考える若者も多いようである。しかし、20代で留学した小生の経験から、“百聞は一見にしかず”で、どんなにわかっているつもりでも、異なる歴史・文化・教育・人生観・価値観を有する他民族・社会の中でさまざまな経験をしなければわからないことも多々ある。現在、東大

でも留学生が著減し、グローバル化に逆行しガラパゴス化する状況にあることは嘆かわしい。

一方、大学の教育・研究環境をより充実させ、わが国の教育レベルを上げるためには（現在、世界大学ランキングで東大は30位と年々低下している）、海外の優秀な学生や教員の確保は必要不可欠であり、そのためにもグローバルに通用するシステムへの変更が必要である。秋入学にすることで、海外からの留学生を増やすことができるだけでなく、日本から海外の大学への留学生を増加させることも容易になる。一方で、小・中・高校の卒業は春であり、大学入試はこれまで通りに春に実施されるとすると、入学までの約半年間の自由な時間ができる。この期間をどのように有意義に使うかを十分検討しておかなければならない。受験勉強に明け暮れ、社会に目を向けることなく直接大学に入学するより、受験が終わってからの半年間にボランティア活動や何らかの社会活動を通じて社会性を身につけるとともに、コミュニケーションスキルを磨き、日本の現状・世界の現状を把握し問題意識をもって大学生活に進むことは大学での学習意欲を高めるためにも有意義ではないか？ また、秋に卒業

となると、一般企業の新入社員は春採用のため、卒業から入社まで半年間をどのように過ごすかも重要な課題となる。特に、医学部の場合、現行の国家試験は2月であるため、この点もどのようにするのか新たな制度設計が必要である。

これから、 少子高齢化社会がますます進むわが国において、若年労働者が不足することが予想され、一層、門戸を開き海外からの労働者を確保することにわが国としての活路を見いだす必

要がある。大学が秋入学・秋卒業となることで、企業が新入社員を秋に採用する制度が進むことになれば、海外からの若年労働者を雇用する機会も増え、企業の国際競争力を維持することに貢献できると考える。

日本が今後さらなる発展を遂げるためには、日本独自の事情に固執することなく、グローバルスタンダードを積極的に取り入れて、海外との人事交流を図ることが重要である。そのためにも、大学秋入学はぜひとも積極的に推進すべきであると考えます。


処方せん医薬品*

高カロリー輸液用 糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・微量元素液

エルネオパ® 1号・2号 輸液

ELNEOPA® No.1 Injection 薬価基準収載
 ELNEOPA® No.2 Injection

*: 注意—医師等の処方せんにより使用すること




処方せん医薬品*

ビタミンB1・糖・電解質・アミノ酸液

ビーフリッド® 輸液

BFLUID® Injection 薬価基準収載

*: 注意—医師等の処方せんにより使用すること



◇ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。

販売提携 **大塚製薬株式会社** 東京都千代田区神田司町2-9
 製造販売元 **株式会社大塚製薬工場** 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

Oisuka

資料請求先
株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター
 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2 (11.04作成)